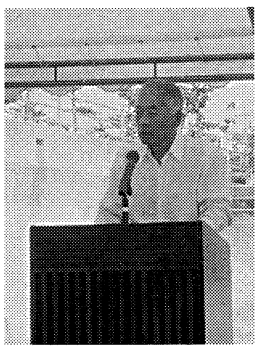
たいよう

発行所
太洋基礎工業㈱
たいよう新聞委員会

創業五八周年記念式典



創業五八年、太洋基礎工業(株)改組五〇期。節目の期を迎えての創立記念日に三〇〇名を超す役職員と協力会社の皆様と共に本日の佳き日を迎えられました事、心より嬉しく感謝感謝の思いでいっぱいで御座います。

風薫る五月、会場の駿河湾大浜海岸、背景に富士が帽子の様な万年雪を被り、童謡富士の山では、あたまを雲の上に出し四方の山を見下ろして雷様を下に聞くと唄っています。高い高い志を持て、景気が良いとか悪いとか、雑音や騒音に惑わされず、信じた道を信じて進めと我らの祝典を寿んでいるかの様に思えてなりません。

前面の大海原ははるかアメリカ大陸まで続いています。マゼランやコロンブスが波涛を乗り越え夢に燃え新大陸を求めた様に風薫る五月の潮風に夢を乗せ、希望を持って我らに一五〇億完工へ挑戦せよと励ましているかの様に思えてなりません。まさに一五〇億完工第二ステージへの門出にふさわしい記念式典会場となりました。

主催静岡支店皆様の記念誌づくり、おもてなしの心で設営を進めて戴いた心配り、只只感謝するばかりです。テーマを一年一度は皆んな集ろうのスローガンには感銘致しました。我ら基礎工事業、苦労の多い職場です。助け合い支え合い社業を進める。絆を強めるには結束するしかありません。結束は、集まるところから始まります。顔を合わせ対話するところから結束が強まります。記念式典のテーマを明確にしたことにより参加した職域の皆様の喜びが理解されることでしょう。記念誌の中で取り上げられた職場の声アンケートで社業に励むのは何の為か、職業人としての本源的な課題を平易な形で問いています。製本途中の記念誌を手にし、職場を盛り上げようとする熱き熱き愛社精神を学習させて戴きました。同時に本式典、必ずや成熟企業、一〇〇年企業への一里塚を飾るのにふさわしい行事として歴史に残るであろうと楽しくも心強くも感じました。新聞記事に、人がいない時代。文字の励ましは容易に手に入るが、実際にそばにいて手を握ってくれる人は得難いものだ。親、家族、友人は神様の贈り物と・・・私しも職縁の友は真に神様の贈り物と信じています。

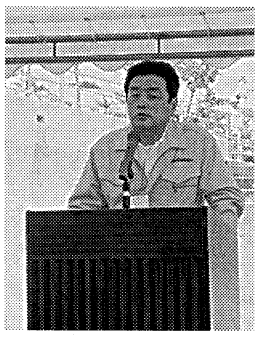
職域で自己を磨く人こそ建設人。社業に励む太洋マンに私が贈った標語です。日本一高い山富士のように我らは三工法日本一をかかげて社業を盛り立ててきました。しかし何時までも三工法日本一では一五〇億企業は創れません。五工法も一〇工法も日本一工法を創りあげなければならないと決意しましょう。

建設を通して拓く豊かな都市づくり。この標語も社業に励む職域の方に私が贈ったものです。建設人として太洋マンとして建設を通して社会貢献は我ら建設人としての使命です。一人の一〇〇歩前進より一〇〇人の一歩前進こそ新生太洋の第二ステージと富士の山に誓い合いたいものです。

有名企業のコマーシャルに日本のきれいという言葉には、見た目が華やかで美しいと言うだけでなく清潔であること、健やかであること、気持ちがまっすぐで濁りがないことなど沢山の意味がこめられているとありました。我らも真っ直ぐで純で濁りのない青年の心を持った技術屋集団としての太洋を創りあげましょう。

式典会場は円形での形が企画されています。カナダの原住民が円は始まりも終わりもない。円の中は全て平等と語っています。そう言えば、ハリウッドの映画西部劇では何かと円陣を組み語り合っている姿をよく観ました。聖徳太子も和を持って尊しと説きました。和は輪、円に通じます。社長以下新卒で四月に仲間になった一人一人全て平等。共生の思想、共に生き、共に楽しむ。共生共遊の太洋のスピリットが健在であれば我らの前途は太平洋に負けず劣らず洋々であり、我らに恐れるものはなし。太洋万歳、太洋万歳と創立記念日の祝辞と致します。

創業者　豊住　満



本日は大変お忙しいなか、又遠方より沢山の職員と職域関係者の皆様に創業五八周年記念式典にご参加頂きまして、誠に有難う御座います。本日の記念式典は創業五五周年の記念式典以降を支店持回りで毎年開催する事になりました。本社・名古屋支店から始まり東京支店、大阪支店を経て静岡支店で四回目の開催になりました。又、今回は通常式典に加え、ボランティア活動として開催場所でもあります大浜海岸内の清掃で社会貢献、余興とし部署対抗の野外競技が行われると聞いています。短い時間ではありますが、記念式典を通してよりコミュニケーションを深め、有意義な一日にして頂ければ幸いです。

太洋の表彰規定により記念式典で社業に貢献された方が表彰されます。資格取得賞、業務功労賞、新人賞、その他特別賞、慰労賞（長期出張者）等で表彰されます。受賞された方には感謝の意を表します。又、受賞できなかった方には来年受賞できるよう頑張って頂きたいと思います。

さて建設業界では、東日本大震災の復興事業、国土強靭化対策事業、東京オリンピック開催、リニア中央新幹線新設事業等があり、地域格差はありますが若干ホローの風が吹いていると思っています。当社の最低目標の一〇〇億完工もこの風に乗って定着化しつつあります。完工増で経費率を下げ、競争力を付ける事で受注率が上がると信じています。多くの仕事を確保し職域関係者が安心して働ける様にしたいと考えています。

今期は二〇一九年一〇月へ消費税率アップの延期が決定しました。その影響と低金利政策により建築関係は好調と推測しています。又、公共事業に於きましては、東京オリンピック開催等により地域格差はあるものの微増と聞いています。少しでも多くの受注が出来る様、期待しています。

当社の主力工種は、従来の推進工、薬液注入工等の地盤改良工、住宅地盤補強工（TSC工法他）、地中連続壁工（TRD工法）、液状化対策薬液注入工（超多点ダブルパッカ工法）、既存杭撤去工、土壌浄化工（バイオレメディーション）、法面補強土工（N－SPC工法）と徐々に増えてきています。今年は更に主力工法の追加を考えています。自社開発の地中連続壁工法であるミニウォール工法で、遅くとも夏頃には協会を設立し、本格的なPR活動と施工体制作りに着手します。工法普及に大いに期待しています。又、研究開発も終極を迎えた地盤改良工法に於いて昨年は惜しくも本施工の実績を作れませんでしたが、今期中には何とか実績を残し工法の汎用化を目指したいと考えています。

太洋の大きな目標である「一〇〇年安心経営」を目指し、日々新しい技術の研究開発とお客様から信頼される会社創りを進め、精一杯努力して参りますので、職域の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝と会社の発展をご祈念してご挨拶に代えさせて頂きます。

代表取締役社長　伊藤　孝芳

創業五八周年記念式典　実行委員長

五月晴れの下、三二〇名集う

各支店持ち回り開催方式で始まった創業記念式典。今回の静岡で四回目になる事と、太洋基礎工業改組五〇期の節目の年と言うことで、今までとは少し趣向を変えて野外BBQ大会の形で開催させて頂きました。参加者人数三二〇名。大変お忙しい中、日本全国の営業拠点より遠方にも関わらず実に多くの皆様にご参加して頂き、感謝・感謝を超え感激すら覚える一日となりました。正直、野外大会ということでお天気だけを心配しておりました。当日の五月一五日(日)はまさに五月晴れ。これ以上ない天気に恵まれ、参加者の日頃の行いの良さと主催者側の熱意が天に通じたと思いました。

創業五八年、振り返りますと太洋とその仲間は随分大きく成長させて貰ったと、この大会の盛り上がり方を見て改めて実感しました。そして今大会のテーマである「太洋の絆・一年に一度は皆で集まろう」は、間違いの無い重要なテーマであったと確信が持てました。日本一の富士山と駿河湾を望む最高の景観の中でよく食べ、よく飲み、よく話をする。今まで以上に太洋の絆は深まり、新たに掲げた完工一五〇億の目標に挑戦する原動力になるのではないでしょうか。確かなことは記念誌づくりに始まり、企画や設営の準備、運営を通じ、静岡支店職員と協力会の仲間の絆は確実に強くなりました。

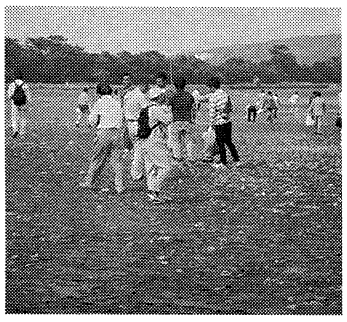
記念式典では四〇名を超える方々が社業に貢献されたとして、功労賞・特別賞・新人賞・慰労賞など表彰されました。返す返す残念なのは静岡支店から表彰される方がいなかったことです。来年は是非多くの支店職員が表彰されるよう指導したいものです。祝宴では特に綱引き大会が盛り上がりました。支店別対抗方式をとったことが功を奏したのか、競争心に火が付き、明日からの業務に支障が出るのではと心配するほどでした。優勝チームの大阪支店、おめでとうございました。

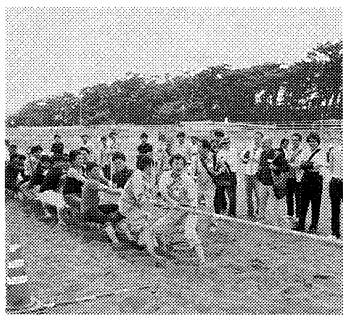
帰りの時間を考慮して本当に短い時間での開催となりましたが、最後に大浜海岸の清掃ボランティア活動もでき、その分中身の充実したものになったと自負しております。ただ開催時の熱が冷め、落ち着くころには、こうすればもっと喜んで貰えたのではないか、ああすればもっと楽しくできたのではないかと、反省点がいくつも沸いてくるのも事実です。この思いは来年開催の長野大会の運営のお手伝いに繋げたいと思います。

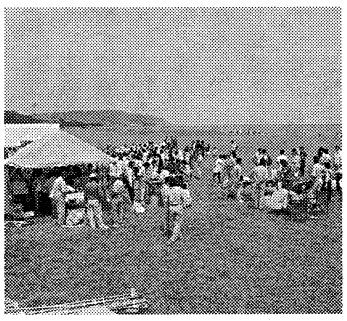
最後にBBQを準備して下さいました神守研究開発センターの皆様と企画・運営、並びに会場設営、片付けまで早朝から最後まで協力頂いた静岡支店職員、協力会の皆様、お疲れ様でした。無事開催できましたのも皆様の頑張りがあったからこそと心より感謝申し上げます。

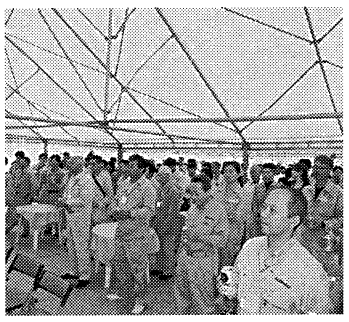
静岡支店　取締役支店長　川邊　孝行

（二面上段に写真掲載）


清掃活動


綱引き大会


野外バーベキュー


記念式典

表彰受賞者

最前線レポート

発注者
大阪府八尾市

工事名
平成二六年度飛行場北排水区第二十九工区下水道工事

工期
平成二七年四月一〇日
～平成二八年三月一七日

工事概要
・土質調査工　五箇所
・薬液注入工
（二重管ストレーナー工法）
発進立坑・中間立坑三箇所
到達立坑部　五五一・四㎘
・地盤改良工（ＪＳＧ工法）
φ一四〇〇　九本
・推進工（ＣＭＴ推進工法）
φ一三五〇㎜ＨＰ
Ｌ＝七二七・七六ｍ
カーブ数　一〇箇所
・発進立坑
鋼矢板Ⅲ型
八四〇〇㎜×七二〇〇㎜
立坑深　一一・〇ｍ
水位　ＧＬ－四ｍ

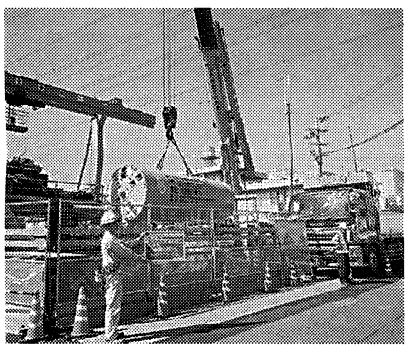
日々の就労お疲れ様です。本工事の特徴としまして発進立坑設置箇所に産業廃棄物層（推進管天端から五〇〇㎜上から、厚み五ｍ）があり、メタンガスの発生と大きな間隙が確認されていました。発進立抗内にメタンガスが侵入しない様、施工方法・施工範囲・材料の選定と検討を行いました。検討の結果、立抗周りの空洞部をＬＷにて粗詰注入を行い、溶液を復相注入する工法を選定しました。試験注入を行い、目標の透水係数を確保することができ、無事発進立坑周囲の注入を施工できました。推進施工中は発進立坑内にガス検知器を常時設置し測定しながら施工した結果、最後までガスの侵入はありませんでした。

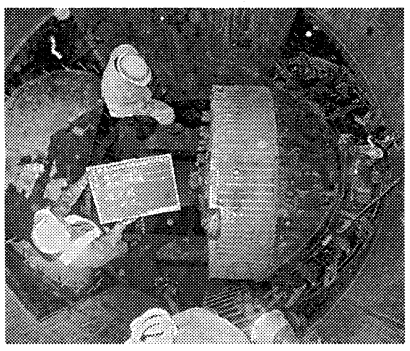
次に主となる推進工事ですが、推進延長約七三〇ｍでカーブが一〇箇所、中間立坑三箇所通過と、かなり困難な条件の上、発注者である八尾市様の管理基準が二五㎜以内とかなり厳しい基準でした。検討内容として、管周囲摩擦による推力増加低減の方法、推進機、推進管の精度管理方法等、元請の大豊建設（株）様、協力会社の方々と何度も入念な打ち合わせを行いました。推進機械はメタンガス対策として機内にエアーカーテンを取り付け防爆仕様に改造し、推進管内にはガス検知器を設置しました。又、推力の増加を抑える為、昼夜二班での施工を行いました。施工中に土質の変化が頻繁にあり、推進延長が伸びるにつれて推力が上昇する場面が幾度とあり、ＣＭＴ工法のテールボイド材、緩み土圧抑制材だけでなく、土質の変化に合った材料を使用した結果、推進力を抑えることができました。

次に精度管理ですが、推し切り（二・四三ｍ）毎の機体位置、レベル確認は勿論のこと、変位が感じられると半管毎に測量を行いました。又、中間立坑、到達人孔の二〇ｍ手前では、測量士による基線確認とジャイロ測量を行い、測量データーの一致性を確認して、精度良く到達しました。本当に無事故・無災害で完工できたのも元請の大豊建設（株）様を始め、協力会社の皆様のおかげであると心から感じております。

私事ですが、今後この仕事を続けて行く上で、自分の施工経験にプラスになった現場だと感じております。今後もご指導ご鞭撻を宜しくお願いします。

大阪支店　工事部
主任　大元　健司





社長室だより
月間ＭＶＰ賞

受賞者
取締役名古屋支店長
髙田　哲夫　殿

積水ハウス（株）名古屋東シャーメゾン支店様に成約物件を紹介して頂きました。成約物件を出して頂いたことでお客様と当社の連携が強くなりました。

よってこの功績を称え、月間ＭＶＰ賞に推進致します。

推薦者
名古屋支店　開発部
部長　奈良坂　和行

受賞者
長野支店　工事部
係長　碓田　美洋　殿

諏訪市高島２工区工事の現場管理者として安全・高品質で施工を完了し、元請の吉川建設（株）様から会社表彰される事となりました。

よって功績を称え月間ＭＶＰ賞に推薦します。

推薦者
取締役長野支店長
市岡　秀夫

受賞者
大阪支店　工事部
大元　健司　殿

八尾推進現場で、昼夜施工での長距離ＣＭＴ工事を精度よく無事故・無災害で完了し、大豊建設（株）様に現場管理能力を高く評価され、個人表彰を頂きました。

よって功績を称え月間ＭＶＰ賞に推薦いたします。

推薦者
大阪支店
副支店長　岡田　浩

受賞者
名古屋支店　調査部
増田　光信　殿

スウェーデン式サウンディング調査部門において、品質管理担当者としてミスゼロを連続一八カ月間達成し、品質評価ポイント連続一位を保持達成しました。

お得意様へ深い信頼と会社の業績に大いに貢献しました事を称え、月間ＭＶＰ賞に推薦します。

推薦者
名古屋支店　調査部
部長　圓子　春雄

月間ＭＶＰ賞は当社職員だけでなく協力会社の皆様も表彰の対象となっています。自薦、他薦は問いません。多くの受賞者がでることを期待しています。

代表取締役社長
伊藤　孝芳

柱状改良工事現場見学会開催のお知らせ

柱状改良工事を行う現場にて先行掘削排出土軽減工法の実験工事を行います。先行掘削を行うことで改良土混じりの排出土を軽減できる工法となっており、この工法の現場見学会を開催します。見学ご希望の方は、ご連絡下さい。

場　所
名古屋市中川区西日置
二丁目二〇－一一

開催日
平成二八年七月二七日～
二八日

名古屋支店　開発部
部長　奈良坂　和行

共済会だより

☆新しい仲間
五月二日
山本　稔
九州支店　工事部

五月一六日
熊代　壮志
静岡支店　開発部

☆お悔やみ申し上げます
五月二〇日
故　小川　京子　御母堂
神守研究開発センター
工事課　小川　義浩
合掌

共生共遊

・五月、霊峰富士を借景に遠州灘に面した大浜海岸公園に於いて創業記念式典が参加者三二〇名、四〇名を超す社員が表彰され、当日は社会に存在価値のある職場づくりの一環とした会場周辺の清掃活動が業界紙に紹介されました。人の集るところに繁栄あり。一五〇億完工を目指す太洋が勇気と自信を確かめあった記念式典となりました。今期も本社所在地の地域貢献として防犯カメラを贈呈。安心安全な街づくりへ協力できました。

・六月に入り安全大会が八会場で行われ五〇〇名を超す職域の友が集います。まさに数こそ力。ここでも一五〇億企業を目指す我らに道は拓かれていると大きな大きな励ましを戴いている安全大会となっています。

・前進太洋と比べ何ともむなしい、文にするのもなげかわしい東京都知事。都民の皆様に心配かけていますと連発。都民は心配しているのではなく怒っているはず。第三者の目で厳しい精査と連発。自ら選んだ弁護人が第三者であるはずがない。国語の危機としか言いようがない。その他ホテルで逢った人物の名前も言えない。反社会的職業人か愛人ではないか、穿った見方をしているのは私だけだろうか。知事のご家族もきっとテレビを観ていることでしょう。早くお辞めになることがご家族の為とも思ったりしています。

・太洋のリーダーに創業者の遺言と心して戴きたい。人に優しく自分に厳しく、リーダーは格あるべき。我らには創業記念式典に三二〇名、安全大会には五〇〇名を超す職域の仲間有り。余程の覚悟を持たないとリーダーになりえない。

顧問　豊住　満